

第5回日本医療安全学会学術総会 於：東京大学本郷キャンパス

テーマ：地域に根差した医療安全文化の醸成

日時：2019年2月9日(土)～10日(日)

<http://jpscsc.org/5thJPSCS/>

主たる応募可能な分野：地域医療と医療安全

発表形式：ポスター

演題名：保険薬局における医療安全の取組み～安全マネジメントサイクル構築にむけて～

発表者：川路明人 1)、吉田昌樹 2)、森 達雄 3)、棚瀬裕子 4)、樋田陽子 5)、土屋辰司 1)、住田崇 1)、石橋明 6)

所属機関・部署：1) (一社) ファルマネットぎふ本部、2) しいのみセンター薬局、3) しいのみ薬局、4) 南しいのみ薬局、5) 華陽しいのみ薬局、6) 安全マネジメント研究所

メールアドレス：kawaji@pharma-net.co.jp

発表原稿（400文字以内。図表の貼り付けは禁止）

#### 【目的】

ファルマネットぎふは、4店舗を有する保険薬局である。委員会は、理事会の諮問機関として2012年10月に設置。任務は、1.インシデント報告書の統計・分析、2.医療事故に対する具体的対策、3.安全管理上の問題点の把握、該当部署への改善指導と支援、4.職員の啓発・教育、5.委員会による現場確認である。2014年2月より、安全マネジメント研究所所長の石橋明氏の助言を得て、安全マネジメントサイクル構築にむけて取り組んでいる。今回その到達点について報告する。

#### 【方法】

到達点を把握するため、年2回の安全研修と事例分析を調査

#### 【結果と考察】

事例分析には、VTA（Variation Tree Analysis＝時系列事象分析）、なぜなぜ分析、M-SHELを活用している。委員会が、4年間に事例分析した件数は、10件。職員は、2017年2月石橋明氏によるVTAの講義とワークショップの受講し、安全研修で実際の2症例のVTA分析に参加した。職員の安全意識は、犯人捜しから原因究明へ変化してきている。(397文字)

抄録印刷物の購入：購入する